



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東
コード番号 9012 URL <https://www.chichibu-railway.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 英伸
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 佐藤 伸 TEL 048-523-3311
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 中間純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|-------|------|------|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期中間期 | 2,575 | 6.5 | 82 | 158.2 | 67 | 57.5 | 25 | △89.2 |
| 2024年3月期中間期 | 2,417 | 5.4 | 32 | — | 43 | — | 234 | — |

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 24百万円 (△10.9%) 2024年3月期中間期 27百万円 (—%)

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|-------------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期中間期 | 17.12 | — |
| 2024年3月期中間期 | 158.16 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2025年3月期中間期 | 16,311 | 4,953 | 30.3 | 3,327.46 |
| 2024年3月期 | 16,453 | 4,929 | 29.9 | 3,310.87 |

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 4,942百万円 2024年3月期 4,918百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2025年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2025年3月期（予想） | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|-------|------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,100 | 3.8 | 150 | 787.8 | 100 | 408.3 | 20 | △78.4 | 13.46 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2025年3月期中間期 | 1,500,000株 | 2024年3月期 | 1,500,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年3月期中間期 | 14,518株 | 2024年3月期 | 14,487株 |
| ③ 期中平均株式数 (中間期) | 2025年3月期中間期 | 1,485,510株 | 2024年3月期中間期 | 1,485,513株 |

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------------|----|
| 1. 当中間決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 6 |
| 中間連結損益計算書 | 6 |
| 中間連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (中間連結損益計算書に関する注記) | 8 |
| (中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 9 |
| 3. その他 | 11 |
| (重要事象等について) | 11 |
| 4. 補足情報 | 11 |
| (参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入 | 11 |

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におきましては、引き続き沿線地域の人流回復傾向が見られたものの、諸物価の上昇など、注視が必要な状況が続きました。

このような状況の中、当中間連結会計期間の業績につきましては、営業収益は2,575百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は82百万円（同158.2%増）、経常利益は67百万円（同57.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は25百万円（同89.2%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

[鉄道事業]

鉄道事業におきましては、旅客部門は、「電気機関車運転体験」をはじめ鉄道の魅力を活かした体験型イベントを開催したほか、当社にもゆかりのある渋沢栄一翁の新紙幣発行を記念した企画列車やスタンプラリーを実施するなど積極的な旅客誘致に取り組みました。これらにより、旅客の人員及び収入は、前年同期に比べ増加いたしました。

貨物部門は、輸送量が減少したことにより、貨物収入は前年同期に比べ減少いたしました。

営業費用は、修繕費や電力費が増加いたしました。

この結果、営業収益は1,639百万円（前年同期比0.5%減）、営業損失は89百万円（前年同期は30百万円の営業損失）となりました。

[不動産事業]

不動産事業におきましては、賃貸収入が駐車場をはじめとする賃貸物件の稼働率向上などにより前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は186百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は112百万円（同16.6%増）となりました。

[観光事業]

観光事業におきましては、天候に恵まれたほか、料金改定の効果もあり、長瀬ラインくんだりをはじめ各施設の収入は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は256百万円（前年同期比24.0%増）、営業利益は35百万円（前年同期は5百万円の営業損失）となりました。

[卸売・小売業]

卸売・小売業におきましては、コンビニエンスストアや駅売店などにおける売上が増加いたしました。

営業費用は、人件費などが増加いたしました。

この結果、営業収益は314百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は10百万円（同22.8%減）となりました。

[その他]

バス事業におきましては、前期に実施された貸切バスの下限運賃改定の効果もあり増収となりました。建設・電気工事におきましては、完成工事高が増加いたしました。

この結果、営業収益は421百万円（前年同期比37.8%増）、営業利益は9百万円（前年同期は45百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ141百万円減少し16,311百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ228百万円減少し1,629百万円、固定資産は87百万円増加し14,682百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、その他に含まれる補助金等の未収金が減少したことによるものです。固定資産増加の主な要因は、有形固定資産の増加によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ165百万円減少し11,357百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ130百万円減少し3,369百万円、固定負債は34百万円減少し7,988百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、その他に含まれる設備投資未払金の減少によるものです。固定負債減少の主な要因は、長期借入金が増加した一方、退職給付に係る負債が減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ24百万円増加し4,953百万円となりました。純資産増加の主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年11月6日の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、当第2四半期連結累計期間の業績予想を修正いたしましたが、通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、現時点では前回予想値を据え置いております。今後修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年9月30日) |
|----------------|-------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 981,760 | 1,038,186 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 329,657 | 233,062 |
| 分譲土地建物 | 93,787 | 93,098 |
| 商品及び製品 | 32,916 | 35,765 |
| 原材料及び貯蔵品 | 153,267 | 156,028 |
| その他 | 271,815 | 79,205 |
| 貸倒引当金 | △5,145 | △6,197 |
| 流動資産合計 | 1,858,059 | 1,629,149 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 13,145,872 | 13,183,194 |
| 減価償却累計額 | △10,179,547 | △10,210,602 |
| 建物及び構築物(純額) | 2,966,325 | 2,972,591 |
| 機械装置及び運搬具 | 4,301,116 | 4,316,070 |
| 減価償却累計額 | △3,912,814 | △3,961,986 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 388,301 | 354,083 |
| 土地 | 10,993,233 | 10,993,233 |
| その他 | 941,091 | 937,607 |
| 減価償却累計額 | △848,764 | △750,783 |
| その他(純額) | 92,326 | 186,823 |
| 有形固定資産合計 | 14,440,187 | 14,506,733 |
| 無形固定資産 | 5,249 | 31,313 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 99,241 | 96,961 |
| 繰延税金資産 | 13,036 | 12,718 |
| その他 | 59,128 | 57,127 |
| 貸倒引当金 | △21,750 | △22,227 |
| 投資その他の資産合計 | 149,656 | 144,579 |
| 固定資産合計 | 14,595,094 | 14,682,625 |
| 資産合計 | 16,453,153 | 16,311,775 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当中間連結会計期間 (2024年9月30日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 175,936 | 160,747 |
| 短期借入金 | 805,000 | 755,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,370,111 | 1,395,404 |
| 未払法人税等 | 20,035 | 16,832 |
| 未払消費税等 | 50,636 | 80,327 |
| 契約負債 | 88,502 | 118,345 |
| 賞与引当金 | 179,014 | 176,449 |
| 特別修繕引当金 | — | 20,178 |
| その他 | 810,815 | 645,819 |
| 流動負債合計 | 3,500,051 | 3,369,103 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,380,443 | 3,443,431 |
| 繰延税金負債 | 6,374 | 5,868 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 3,091,577 | 3,091,577 |
| 退職給付に係る負債 | 1,188,571 | 1,103,378 |
| 特別修繕引当金 | 81,900 | 94,500 |
| 長期預り金 | 104,437 | 102,080 |
| その他 | 170,368 | 147,851 |
| 固定負債合計 | 8,023,672 | 7,988,687 |
| 負債合計 | 11,523,724 | 11,357,790 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 750,000 | 750,000 |
| 資本剰余金 | 19,032 | 19,032 |
| 利益剰余金 | △2,876,900 | △2,851,467 |
| 自己株式 | △31,880 | △31,943 |
| 株主資本合計 | △2,139,748 | △2,114,378 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 39,275 | 37,679 |
| 土地再評価差額金 | 7,026,052 | 7,026,052 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △7,242 | △6,476 |
| その他の包括利益累計額合計 | 7,058,085 | 7,057,255 |
| 非支配株主持分 | 11,092 | 11,108 |
| 純資産合計 | 4,929,428 | 4,953,984 |
| 負債純資産合計 | 16,453,153 | 16,311,775 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|-----------------|--|--|
| 営業収益 | 2,417,622 | 2,575,467 |
| 営業費 | | |
| 運輸業等営業費及び売上原価 | 1,675,616 | 1,844,908 |
| 販売費及び一般管理費 | 709,932 | 647,751 |
| 営業費合計 | 2,385,549 | 2,492,660 |
| 営業利益 | 32,073 | 82,807 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 60 |
| 受取配当金 | 19,274 | 1,011 |
| 土地物件貸付料 | 9,467 | 11,794 |
| 助成金収入 | 3,602 | — |
| その他 | 2,232 | 2,332 |
| 営業外収益合計 | 34,581 | 15,199 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 15,776 | 25,476 |
| 減価償却費 | 6,740 | — |
| その他 | 1,014 | 4,612 |
| 営業外費用合計 | 23,531 | 30,089 |
| 経常利益 | 43,123 | 67,917 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 6,036 |
| 工事負担金等受入額 | — | 21,524 |
| 投資有価証券売却益 | 501,564 | — |
| 事業譲渡益 | 70,000 | — |
| 補助金受入額 | — | 19,400 |
| 特別利益合計 | 571,564 | 46,961 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産圧縮損 | — | 40,924 |
| 減損損失 | 338,491 | 43,122 |
| 特別損失合計 | 338,491 | 84,046 |
| 税金等調整前中間純利益 | 276,196 | 30,831 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 37,881 | 4,885 |
| 法人税等調整額 | 3,204 | 489 |
| 法人税等合計 | 41,086 | 5,374 |
| 中間純利益 | 235,110 | 25,456 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益 | 164 | 23 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 234,945 | 25,433 |

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|----------------|--|--|
| 中間純利益 | 235,110 | 25,456 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △209,958 | △1,603 |
| 退職給付に係る調整額 | 2,474 | 766 |
| その他の包括利益合計 | △207,484 | △837 |
| 中間包括利益 | 27,625 | 24,619 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 23,274 | 24,602 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | 4,351 | 16 |

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書に関する注記)

販売費及び一般管理費の主なものは次のとおりであります。

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|----------|--|--|
| 給与・手当 | 267,351千円 | 242,323千円 |
| 賞与引当金繰入額 | 41,237 | 33,149 |
| 退職給付費用 | 15,755 | 11,711 |
| 減価償却費 | 29,666 | 23,217 |

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当中間連結会計期間における中間連結キャッシュ・フロー計算書に係る減価償却費 (のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。) は、次のとおりであります。

| | 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 137,480 | 96,573 |

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|------------------------------------|-----------|-----------|---------|------------|-----------|--------------|-----------|--------------|-------------------------------|
| | 鉄道事業 | 不動産 事業 | 観光事業 | 卸売・ 小売業 | 計 | | | | |
| 営業収益 | | | | | | | | | |
| 外部顧客 への営業 収益 | 1,642,956 | 173,266 | 205,257 | 238,361 | 2,259,841 | 157,781 | 2,417,622 | — | 2,417,622 |
| セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高 | 4,818 | 7,512 | 1,228 | 60,201 | 73,761 | 148,054 | 221,816 | △221,816 | — |
| 計 | 1,647,774 | 180,779 | 206,486 | 298,562 | 2,333,603 | 305,836 | 2,639,439 | △221,816 | 2,417,622 |
| セグメント 利益又は損 失(△) | △30,114 | 96,305 | △5,369 | 13,216 | 74,037 | △45,561 | 28,475 | 3,598 | 32,073 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業、旅行業及び建設・電気工事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額3,598千円には、固定資産未実現損益の消去額1,985千円、セグメント間取引消去額1,612千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「鉄道事業」セグメントにおいて、29,671千円の減損損失を計上しております。

「不動産事業」セグメントにおいて、308,819千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|------------------------------------|-----------|-----------|---------|------------|-----------|--------------|-----------|--------------|-------------------------------|
| | 鉄道事業 | 不動産 事業 | 観光事業 | 卸売・ 小売業 | 計 | | | | |
| 営業収益 | | | | | | | | | |
| 外部顧客 への営業 収益 | 1,635,011 | 178,776 | 252,165 | 297,054 | 2,363,008 | 212,458 | 2,575,467 | — | 2,575,467 |
| セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高 | 4,913 | 7,518 | 3,947 | 17,170 | 33,549 | 208,901 | 242,451 | △242,451 | — |
| 計 | 1,639,925 | 186,295 | 256,113 | 314,224 | 2,396,558 | 421,360 | 2,817,919 | △242,451 | 2,575,467 |
| セグメント 利益又は損 失 (△) | △89,540 | 112,314 | 35,773 | 10,205 | 68,753 | 9,187 | 77,941 | 4,865 | 82,807 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業、旅行業及び建設・電気工事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額4,865千円には、固定資産未実現損益の消去額1,957千円、セグメント間取引消去額2,908千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「鉄道事業」セグメントにおいて、43,122千円の減損損失を計上しております。

3. その他

(重要事象等について)

当社グループは、2020年以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより、業績に重要な影響を受けました。業績は回復傾向にあるものの、監査・保証実務委員会報告第74号「継続企業の前提に関する開示について」に照らすと、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しているものとみなされます。このような事象又は状況を解消するために、以下の課題に取り組んでまいります。なお、鉄道事業の旅客運賃につきましては、2024年10月1日をもって改定いたしました。

- ・多面的な検証による適正な運賃・料金についての検討
- ・沿線の各観光施設への周遊の機会増加を図るためグループ一体となった各種イベント、諸施策の実施
- ・グループ全体の観光事業の再構築
- ・安定的で収益力の高い不動産事業への転換
- ・資金残高を踏まえた資産の有効活用と金融機関との関係の強化

これらの施策により、翌1年間の資金繰りは安定すると考えられることから、現時点において今後の事業継続に関して重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

| | | | 当中間 連結会計期間 | 前中間 連結会計期間 | 増減率 (%) |
|-------|-----|-----|---------------|---------------|---------|
| 旅客人員 | 定期 | 千人 | 2,299 | 2,290 | 0.4 |
| | 定期外 | 〃 | 1,501 | 1,413 | 6.3 |
| | 計 | 〃 | 3,801 | 3,703 | 2.6 |
| 貨物トン数 | | 千トン | 715 | 862 | △17.0 |
| 旅客収入 | 定期 | 百万円 | 327 | 332 | △1.4 |
| | 定期外 | 〃 | 596 | 553 | 7.7 |
| | 計 | 〃 | 923 | 885 | 4.3 |
| 貨物収入 | | 〃 | 587 | 624 | △5.9 |